



尻別川の未来を考える オビラメの会

OBIRAME RESTORATION GROUP
NEWSLETTER Oct. 2013

41



イトウ飼育 池を大改修 6年ぶり本格リフォーム

尻別川個体群の遺伝子を引き継ぐイトウ 15 匹がすむオビラメの会の飼育池（倶知安町）で6月9日、大規模な改修工事を行ないました。

2006年10月以来の本格改修工事。吉岡俊彦事務局長をはじめ、会員たち十数人が参加しました。

水位を下げてイトウたちを水槽に移した後、池のアウトレット部に数十個の新しい土嚢を積み直し、防水布を敷き詰めて水漏れを修繕。また池底のヘド口を除去しました。



Photos / Tsuyoshi Hirata



アダチ先生の オビラメ出前授業 @ 倶知安小学校

文・足立聡 フォトグラファー、オビラメの会会員

8月30日に倶知安小学校4年生に向けてイトウとオビラメの会について授業をしてきました。子供たちは5月にイトウの遡上を見学して以来イトウにとっても興味を持っていて、夏休みの工作で1.5mのイトウ縫いぐるみを作った子もいました。小学校での授業など初めての経験ですので結構緊張していたのですが、子供達の反応がいいのでこちらも楽しかったです。3～4時間目の2時

間ということだったので3時間目にイトウの生態について、4時間目にオビラメの会の活動について話すつもりだったのですが、イトウの生態を写真を見てもらいながら説明した後に質問タイムをとったところ、質問が次々として止まらず大分時間をオーバーしてしまいました。そのせいでオビラメの会の活動についての話がかなり駆け足になってしまったのが少々心残りです。

後日、担任の新米先生が子供達の感想をメールで送ってくれたので一部紹介します。

この子供達の中から将来のオビラメの会若手会員が育ってくれればと期待しています。



●人工的にふ化させた稚魚が川に戻ってきたのを確認できたのは世界で初めてで、尻別川とオビラメの会はとてもすごいと思いました。そして、なぜイトウが好きか知りたいです。
佐久間大智くん



倶知安小学校4年生 のみなさんの感想文 から

●イトウを復活させるのに30年もかけて守っていくというのがとてもすごいな—と思いました。今日の90分は貴重だったと思いました。
須佐千風くん

●今日わかったことは、子どものイトウの天敵はたくさんいるけれど、大きくなるにつれて天敵が少なくなってくることです。オビラメの会の方々がイトウのことをどれだけ大切にしているのかがよくわかりました。
大橋静空さん

●僕は生き物が好きなので、イトウを守り、オビラメの会に入りたいです。
土岐翔太くん

●尻別川とイトウがつながり、関係があるからといってオビラメの会の方々と出会うことができ、その分、わかったことが増えていっています。オビラメの会の方々は尻別川とイトウ両方を守っているんだなあと思いました。
山下美優さん

●何回も失敗してもあきらめないで、魚が帰ってきてすごいなと思いました。
谷南和くん

●イトウが減った理由がわかってよかったけど、やっぱり減ったのは残念です。尻別川や色々な川にイトウが増えてほしいです。
鈴木智也くん

●今日のお話で、イトウが昔より少ないことがわかりました。イトウが海に出ることもあることがわかりました。
野村愛さん

●インターネットや本じゃ絶対にわからないことを知れてよかった。イトウが減った理由はダムということがわかった。イトウの舌に歯があるなんてびっくりした。雌の大きさは川によって違うことがわかった。
土屋真理くん

●オビラメの会の活動は、成功ばかりじゃなくて失敗がたくさんあったから、私は「失敗し続けたらきっと大きな良いことがある」のだと思います。わたしは聞いたことを紙一枚びっちりかけました。
菅藤咲季さん

感想文と写真提供：倶知安町立
倶知安小学校
協力：倶知安風土館

2013 年度オビラメ総会報告

総額 402 万円の予算を決定

オビラメの会は7月21日、ニセコ町民センターで2013年度通常総会を開きました。報告された会員数は79人(2013年5月31日現在)。新年度予算は402万8136円(前年度予算157万9990円)に決定しました。役員改選では、転勤にともなう沼田雄一会計の離任(理事職は留任)と、菅原俊宏理事の新会計就任が承認されました。また藤盛聡さんが新たに会計監査に就任しました。



2013 年度事業計画

事業名	内容
イトウ畜養	イトウ畜養・管理、施設改修、準備調整(カシュンベツ川)
行政との協働	道および町村機関との協議
見まもり隊	密漁対策、環境教育、モニタリング、保全対策
俱登山川	稚魚放流、保全対策、モニタリング
復元事業	新たな導入河川の探索
環境教育	リーフレット作成、見学会、勉強会、パネル展&シンポジウム(ニセコ、新宿)
ネットワーク	イトウ保護連絡協議会総会、そのほか
ファンドレイジング	助成金申請、事業報告書提出
広報	ニュースレター、サイト更新、取材協力
そのほか	

2013 年度役員名簿

役職	氏名	備考
会長	草島清作	
事務局長	吉岡俊彦	
事務局次長	鈴木則行	
会計	沼田雄一	退任
	菅原俊宏	新任

理事	鈴木芳房	
	玉井秀樹	
	山根敏夫	
	沼田雄一	
	菅原俊宏	
幹事	河野裕司	
	城座研一	
	平田剛士	
会計監査	加藤清三	
	山本契	
	藤盛聡	新任



菅原俊宏さん



藤盛聡さん

2013 年度予算 2013 年 6 月～2014 年 5 月

(収入)

費目	予算額 (円)	適用
会費	200,000	100 人@ 2000 円
広告費	0	
助成金	500,000	
寄付金	0	
前年度繰越金	3,328,111	
利息	25	
収入合計 A	4,028,136	

助成金事業

名称	金額 (円)	事業
河川財団	500,000	イトウ保護パネル展 & シンポジウム (ニセコ、新宿)
セブン-イレブン みどりの基金	431,392	飼育管理、モニタリング、 魚道修繕
北海道 e 水プロジェクト	446,960	自然遡上河川保護・監視 活動、リーフレット作成
パタゴニア/ タイズ財団	300,000	モニタリング活動

(支出)

費目	適用	予算額 (円)
事業費	飼育管理	500,000
	ヒラフ池改修	400,000
	カシュベツ飼育池事前調査	0
	再導入魚モニタリング	350,904
	稚魚放流会	0
	放流魚情報要請活動	0
	自然遡上河川保護・監視活動	450,000
	魚道モニタリング	0
	魚道修繕工事	100,000
	イトウ保護パネル展 & シンポジウム	1,000,000
	リーフレット発行	300,000
	各機関との協議	30,000
	新再導入河川の探索	0
	勉強会 (2 回)	0
	シンポジウム	0
	ニューズレター発行	60,000
	ウェブサイト	1,200
その他	10,000	
事業費計		3,202,104
管理費	会議費	100,000
	交通費	100,000
	交際費	20,000
	食糧費	100,000
	通信費	30,000
	雑費	50,000
管理費計		400,000
支出合計 B		3,602,104

次期繰越金 A-B

426,032

上りやすい魚道を目指して イトウ再導入河川の魚道で非コンクリート系 D I Y 工事

オビラメの会が 2004 年からイトウ再導入実験を進めている尻別川水系倶登山川 (倶知安町) で 7 月 21 日、落差工の魚道機能を高める工事をしました。

当会の要望を受けて北海道後志総合振興局農村振興課が、2010 年 3 月までに造成した全 5 基の魚道のうちのひとつ。「斜路式魚道」と呼ばれるタイプで、2012 年の繁殖期に再導入イトウの産卵遡上が初確認されています。この日の工事は、夏の湧水期に「斜路」の距離が長くなる欠点を補うために計画。会員で河川コンサルタントの岩瀬晴夫さんがデザインを担当しました。落差工の下流約 10m の位置の水底に、流れの一部を塞ぐ形で太い丸太材を沈め、魚道入り口の水位を上昇させるのが狙いです。河川管理者の倶知安町役場の事前審査で設置が認められました。

3 時間かかりの作業は無事に完了。狙い通り、10cm あまりの水位上昇が確認され、魚道の「上りやすさ」がずいぶん改善されました。

オビラメの会は付近の観察を続け、この改良工事の効果を検証することにしています。



Photos / Tsuyoshi Hirata

